

広報ひだ

8月

2026年 No.271

特集

飛騨に暮らす、飛騨で学ぶ
学生たちの「やりたい!」が、まちの新しい風になっています

朝霧の森で五感で感じるフィールドワークをしている様子



薬草の活用を検討するために古川町内を散策するCoIU生

飛騨に暮らす、飛騨で学ぶ 学生たちの「やりたい!」が、まちの新しい風になっています

CoIUが目指す学び

飛騨地域初となる4年制大学「コー・イノベーション大学 (CoIU)」が飛騨市を拠点に開学し、4カ月あまりが経ちました。

経営学・経済学を中心に、地域文化や社会課題、データサイエンスなど幅広い分野を学びながら、地域の人々やその営みに深く関わり、ともに汗をかきながらまっすぐ向き合うことで、これからの地域や社会のあり方を考えていく新しい学び「共創学」が特徴です。

対話を重ね、多様な価値観に触れながら、自らの考えを深め、新しい価値を生み出し、先の見えない世界をたくましく生き抜く力を培います。

一方で、いまだ発展途上にある「共創学」。教職員も学期ごとに教育や成果を振り返りながら改善を重ね、より良い「共創学」の実現を目指して、日々試行錯誤を続けています。

主体的に学び続ける学生が集まりました

開学初年度、全国各地から第1期生が飛騨市へ集いました。まだ実績のない大学への入学を決めた学生たちは、それぞれのやりたいことや目標をしっかりと持っています。小学生や高校生のころから独自の取組みを始めるなど、非常に行動力があり、個性豊かな学生が在籍しています。自らの得意なことや関心のあることに主体的に向き合い、学び続けようとする学生たちが集まりました。

学生の多くが市内に住み、学びながら課外活動として地域のさまざまな営みに参加し始めています。将来を見据えて経験を積むためにアルバイトを始めたり、地域の困りごとを助ける「ヒダスケ!」や子ども食堂の活動に参加したりするなど、それぞれが地域との関わりを広げています。地域の皆さんに見守られながら成長する学生の姿と、学生と地域が関わり合うことで生まれはじめている変化をお伝えします。



CoIU教員と学生が互いの理解を深める対話の授業をしました



市職員による「地域ブランド・伝統」の授業のなかで、河合町の山中和紙について学びました



朝霧の森で五感で感じるフィールドワークをしました



ヒダスケ！として鯉の引っ越しに参加。地域の景観保全に協力しています



CoIU生の関谷さんが古川中で講話。自身の経験から違いを認め合う、優しい視点の大切さを伝えました



地域との接点をつくりたいとCoIU生が古川町内でイベントを主催。約700人の来場者で賑わいました

新しい視点から飛騨市の魅力を知る



池田農園 ^{いけだ としや} 池田俊也さん

■どのように関わりましたか？

「再生ヒダスケ！」で荒地の除草、サトイモの植え付け、イチゴの太陽熱消毒で栽培床をビニールで覆う作業などを一緒にしました。

■関わってみてどうでしたか？

奇抜な子が多いイメージを持っていたんですが、会ってみると普通の子。一生懸命だし、頼りになりました。ただ、飛騨へ来て間もないので、まだまだ自己開示ができず、おっかなびっくりにも見えました。地域の人と交流を深めるのは、大学の趣旨にも合っていることだと思うので、自分の感じたことをもっと素直に表現できるといいのでは。

■これから期待することは？

地元の人間は、あまりに身近にありすぎて「飛騨の魅力」に気づかず、悲観的になりがちかもしれません。私たちの飛騨に対する見方に大学生の視点が加わり、新しい価値に気づくことができると、飛騨市ならではの可能性も生まれてくるのでは。「過疎」などのさまざまな課題を前向きにとらえて未来をつくるようなアイデアを出してもらえるといいですね。



まちに新たな活気を



黒内果樹園 ^{あまき まさひこ} 天木政彦さん

■どのように関わりましたか？

ヒダスケ！で、大学生2人に電柵のポール立てや位置決めを、もう1人には桃の摘果を一緒にしました。

■関わってみてどうでしたか？

古川の町なかから黒内まで自転車であたり、細江の駅から歩いてきた子もいて、とにかく元気。髪の毛が真っ赤な子もいてびっくりしたけど、悪ぶってもいないし、話してみると気さくで真面目。フットワークもいいし、飲み込みも早い。「アルバイトにおいて」と誘っておいた(笑)。

半日の交流でも「養蜂をやってる」なんて話をしてくれる子もいて、良い意味でこだわりを持っていることは分かったね。

■これから期待することは？

昔は夏休みに、大勢の高校生がここでアルバイトをしたものだけど、今は全然。たまに町なかへ行っても閑散としてる。

だから若い人が増えて、にぎわうといいなあ。ヒダスケ！のこともいいし、遊んだことでもいいけど、例えば周りの友だちに「黒内は面白かった」と伝えてもらって、関心を持ってもらえれば。



天然湿原でノリウツギの除却を行い、監視員の方と語り合いました



宮川町種蔵で、みょうが畑の保全活動に参加しています



ガッタンゴーの溪谷コースを体験。線路を走りながら神岡の自然を満喫しました

自分の「やりたい！」に向き合っています



滋賀県出身 ひぐち つばさ 樋口翼咲さん

■CoIUを選んだ理由

高校時代に植物の魅力、そして植物を通じた地域の魅力に触れてもらうためのプロジェクトに取り組んでおり、こうした活動を事業化したり採算がとれるようにして社会に通用する形にできるような学びを希望していました。そこでCoIUのホームページを読み、開学の思いに共感できたことが大きいです。

■入学しての印象は？

学生みんなに芯があって、自分の意見を持っているなど感じました。対話でも「自分はこう思う」というのをはっきり持っています。

■入学して約4カ月。どんな学びがありましたか？

地元とは植生が全然違うし、こっちは地域の方々と植物の距離が近いですね。おばちゃんたちと一緒に山菜を採って料理してもらうといった会にも参加したりして、つながりができ、世界が広がったなという感じがあります。

■今後の目標や、将来挑戦したいことはありますか？

古澤さんと「あわいの森」というカフェを立ち上げる計画を立て、実行に移しています。「余白」をキーワードにした新しいコンセプトのカフェで、私は野草を使ったメニューの試作に取り組んでいます。いろんな人が集ってつながり、自分の軸に立ち返ることができるような場所にできたらと思っています。



野草や薬草を見つけ採取しています



福岡県出身 ふるさわ ことこ 古澤琴子さん

■CoIUを選んだ理由

高校時代、こうぞと廃棄野菜の繊維をともに漉いた和紙を作り、その和紙を使ったアップサイクルプロジェクトを始めました。和傘や和紙のインテリアを使用した空間づくりを手掛ける中、偶然インスタにCoIUの情報が流れてきて、実際に現場に出て当事者と同じ目線に立ち、実地的な学びができるCoIUがすごく魅力的でした。大人の皆さんが新しい学びを追究し、もがいている姿にも感銘を受けました。

■入学しての印象は？

少人数制の授業で、生徒1人ひとりと向き合い、個々の価値観を大切にしてください。入学後、自己・他己紹介に1カ月を費やしましたが、私は「人を知る」ことがすごく大事だと思っているので、とても有意義な時間でした。生徒がみんな本気で向き合い、葛藤しあっている空間やプロセスを共有できて良かったと思います。

■入学して約4カ月。どんな学びがありましたか？

いろんな人と交流し、現場を体験することで、どんなことが起きても状況を俯瞰的にとらえて対応し、すべて自分の成長につなげるという学びのサイクルができました。

■今後の目標や、将来挑戦したいことはありますか？

地域活動に参加して、いろんな人とつながりながら「あわいの森」オープンに向けて準備を進めています。五感の要素をもっと散りばめた、効率でははかれない、豊かな空間づくりに挑戦したいです。



地域の音楽イベントにバンドメンバーとして参加しました

学生へ温かいまなざしを



CoIU職員 しげり まい 茂利麻衣さん(神岡町出身)

CoIUでは、教室で知識を学ぶだけでなく、地域の中で人や文化、暮らしに触れながら、一人ひとりが自分の問いと向き合っています。学生たちは身近にある地域の課題に向き合い、それぞれの視点から地域と関わりながら、答えのない問いや課題に対する糸口を、多様な角度から探し

続けています。こうした学びは、地域の皆さんとの出会いや何気ない会話、日々の関わりがあってこそ深まるものです。学生を見かけた際には、ぜひ温かく見守り、ときには気軽に声をかけていただけると嬉しいです。地域の皆さんとともに、飛騨から新しい学びを育んでいければと思います。

国民健康保険料の料率改定

将来にわたって安定した国民健康保険の運営に向けて、引き続き保険料率の見直しを行います。

■改定の背景

平成30年度から岐阜県が市町村と共に国民健康保険の運営に加わり、各市町村は県が示す標準的な保険料を参考に実際の保険料率を決定しています。

市では、県が示す標準的な保険料に近づけるため、平成30年度及び令和元年度に引き上げましたが、令和2年度よりコロナ禍のため、保険料の引き上げを中断していました。

しかし、加入者の減少や高齢化による医療費の増加などにより、保険料の引き上げが必要な状況となっており、今後も県が示す標準的な保険料の増額が想定されるため、令和5年度から保険料の引き上げを再開しています。

また、今年度から子ども・子育て支援金分の徴収が始まりました。子ども・子育て支援金制度は、国民健康保険を含むすべての医療保険が対象となっており、すべての世代や企業の皆さんに支援金をご負担いただき、子育て施策の拡充に充てるもので、こどもや子育て世帯を社会全体で支える制度です。

健全な国保運営を継続するため、このたびの保険料率の改定についてご理解とご協力をお願いします。

■基金による激変緩和

財政調整基金(貯金)の取り崩しにより財源を補い、加入者の皆さんの急激な負担増とならないよう配慮しながら、毎年見直しを行います。

■新たな保険料率等

区 分		改定後	改定前	増減
医療給付費分 (全加入者が対象)	所 得 割	6.55%	6.60%	-0.05ポイント
	均 等 割	30,000円	29,500円	+500円
	平 等 割	19,800円	19,700円	+100円
	賦課限度額	670,000円	660,000円	+10,000円
後期高齢者支援金分 (全加入者が対象)	所 得 割	2.70%	2.70%	増減なし
	均 等 割	12,000円	12,000円	増減なし
	平 等 割	8,000円	8,000円	増減なし
	賦課限度額	260,000円	260,000円	増減なし
介護納付金分 (40歳から64歳の方のみ)	所 得 割	2.45%	2.20%	+0.25ポイント
	均 等 割	13,300円	12,000円	+1,300円
	平 等 割	6,500円	6,000円	+500円
	賦課限度額	170,000円	170,000円	増減なし
子ども・子育て支援金 (全加入者が対象) (一部18歳以上の方のみ) ※子ども・子育て世帯を 支えるため今年度追加	所 得 割	0.28%		
	均 等 割	1,300円		
	18歳以上均等割	80円		
	平 等 割	800円		
	賦課限度額	30,000円		

市・県民税普通徴収の第2期分の納期限は8月31日（月）です

納入忘れがないようご注意ください。

納税通知書の記載事項を必ずご確認ください。

■口座振替の場合

納期限前日までに残高の確認をお願いします。

■納付書の場合

納付書に記載の金融機関、コンビニ、スマートフォン決済アプリ等で納付してください。

※毎月給与の支払いを受けている方は勤務先の事業所で給与から住民税を差し引く方法による納税ができますので、事業主にご相談ください

問 税務課

☎ 0577-73-3742

最高裁判決を踏まえた生活保護費の追加給付

■対象世帯

- ・平成25年8月から平成30年9月までの間に生活保護を受給したことがある全ての世帯
- ・平成30年10月から令和8年3月までの間に生活保護を受給したことがある世帯のうち、一定期間入院・入所されていた方、障害のある方で加算が算定されていた方や、毎年12月に支給される期末一時扶助費が算定された世帯

■申請手続

- ・保護受給中の世帯は、原則として支給手続(申出)は不要です
※平成25年8月以降の期間において、別の自治体で保護を受給していた世帯は、当時保護を受給されていた自治体への申出が必要です
- ・現在、保護を受給していない世帯は、当時保護を受給されていた自治体に、当時の世帯主からの申出が必要です

※詳細は国設置の相談センターまでお問い合わせください

0120-179-445 受付時間9:00～17:00

問 総合福祉課

☎ 0577-73-7483



詳細ページ

おやっ？と思ったら早めの受診・相談！！ ～ものわすれ「早期発見・早期受診」が大切です～

年を重ねれば誰でもなり得る認知症。国の調査では2030年には65歳以上の7人に1人が認知症を発症すると推測されています。認知症は初期の段階で『なんだかおかしい』と本人やご家族が気づくことがありますが、「年齢のせい」にして、専門家への相談や受診が遅れてしまう場合があります。また、65歳未満で発症する「若年性認知症」も同様に、働き盛りの年代で毎日多忙なため、そのまま時間が過ぎていくケースも少なくありません。

■早期発見・早期受診のメリット

①治る病気や一時的な症状の場合がある

認知症以外にも、ものわすれ症状が現れる病気があります(例：慢性硬膜下血腫、脳腫瘍、甲状腺ホルモン異常、不適切な薬の使用等)。治療方法が確立していれば、改善・治癒する見込みがあります。

②進行を緩やかにできる

早めに適切な治療やサポートを受けることで病気の進行を遅らせることが出来る可能性があります。

③これから「備える」

病気を理解できる段階で受診することで、どう向き合うのか、これからの生活について「自分で決める」「自分で選ぶ」など、今後に備えた準備を始めることができます。

■『認知症』早期発見の目安

公益社団法人「認知症の人と家族の会」の会員の経験から、日常の暮らしの中で認知症ではないかと思われる言動をまとめた目安があります。

■かかりつけ医や飛騨市委託事業ものわすれ相談窓口相談しましょう

- ・古川町：オレンジの森 ☎090-1408-1017(月～金、8:30～15:30) ※利用無料・要予約
- ・神岡町：オレンジ相談なないろ ☎080-7095-6575(月・火・水・金 9:00～15:00) ※利用無料・要予約



詳細ページ

問 地域包括支援センター ☎0577-73-6233

献血バス（8月）

輸血に使用する血液は、人工的に造ることができず、長期保存することもできません。
病气やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、ぜひ献血にご協力ください。

日 時	場 所
8月27日（木） 9:30～10:30	神通川水系砂防事務所※（神岡町殿1020-4）
8月27日（木） 12:00～13:00	（株）神岡衛生社（神岡町東雲375）
8月27日（木） 14:15～16:00	NTKカッティングツールズ（株）神岡事業所（神岡町東雲1100）

※は400ml限定献血会場です

問 保健センター

☎ 0577-73-2948



飛騨警察署からののお知らせ

**あなたの大事な財産が狙われている！
～「犯罪の下見」に注意してください～**

県内で、犯罪の下見と思われる事案が発生しています。犯人は、留守の時間帯や家族構成・資産状況などを確認し、犯行の機会をうかがっています。

不審に思ったら、110番通報を！

■下見のチェックポイント

- ・自宅付近に見知らぬ小型カメラが設置されている
- ・自宅玄関扉前や門扉に小石などが置かれている
- ・マーキング（表札やポストなどに見知らぬシールや書き込み）がある
- ・不審電話・業者を装った不審な訪問者がくる
- ・インターホンが押されたが、モニターに不審な人物が映っている
- ・普段見かけない車や人物を見かける

問 飛騨警察署

☎ 0577-73-0110

就学義務猶予免除者等の 中学校卒業程度認定試験

病気などやむを得ない事由で義務教育を修了できなかった方に、中学校卒業と同等以上の学力があると認定する国の試験があります。合格者には高校の入学資格が与えられます。

■出願期限

8月21日（金）※消印有効

■試験期日

10月15日（木）

■試験会場

岐阜県総合教育センター

■合格発表

11月24日（火）（結果通知発送予定）



問 学校教育課

☎ 0577-73-7494

子どもも大人も夢中になる2日間！ 全国薬草フェスティバルinひだ

全国から100を超える薬草関連団体が飛騨市に集結！

「薬草のある暮らし」をテーマに、買って、学んで、体験できるプログラムが盛りだくさん。親子でも楽しめるスタンプラリー・ワークショップ・グルメ等も充実！年に一度の薬草の祭典を、ぜひお楽しみください。

■日時

9月12日（土）・13日（日） 両日ともに10:00～16:00

■会場

【メイン会場】

古川町コミュニティセンター、飛騨市文化交流センター

ＪＡひだ古川支店、円光寺

【サテライト会場】

古川町内各店舗

■同時開催

飛騨市内生産者・事業者が集まり、旬の生産物を使ったグルメが楽しめる飲食ブースが並びます。

日時 9月12日（土）・13日（日） 両日ともに10:00～16:00

会場 飛騨市文化交流センター中庭



詳細ページ

問 まちづくり観光課 ☎ 0577-73-7463

児童扶養手当「現況届」の提出をお忘れなく

児童扶養手当受給資格者の方は、8月中に世帯の状況や所得の状況などを確認する「現況届」の提出が必要です。対象者には、7月下旬に案内を送付していますので、早めの手続きをお願いします。

■「現況届」の提出

- 受付期限 8月31日(月)(土日祝日は除く)
- 対 象 者 手当受給資格者
(全額支給停止の方も手続きが必要です)
- そ の 他 「現況届」の提出されない場合、11月分以降の手当を支給できませんので、必ず手続きをお願いします。
- 提 出 先 子育て応援課または各振興事務所

■児童扶養手当

父または母と生計を同じくしていない児童が育成されるひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童の保護者に対し支給される手当です。
※受給者本人・同居の扶養義務者等の所得による支給制限があります

問 子育て応援課 ☎ 0577-73-2458

飛騨市民カレッジ 後期講座受講生募集！

飛騨市民カレッジ後期講座の募集が始まります！8月20日の朝刊折込にてリーフレットを配布します。今回も多種多様な講座が盛りだくさん！ぜひいろいろな講座にご参加ください。

■設置場所

古川町・神岡町コミュニティセンター、河合・宮川振興事務所、飛騨市・神岡町図書館、飛騨市役所ほか

■講座開講期間

10月～3月

■申込期限

9月17日(木)

■申込方法

リーフレットの申込書または市ホームページの専用フォームよりお申し込みできます。



詳細ページ

問 生涯学習課 ☎ 0577-73-7495

飛騨市民カレッジ特別講座開催！ 料理研究家・土井善晴氏講演会

「学びに卒業なんてない！」をテーマに面白い学びの場作りを進めている飛騨市民カレッジ。今年度は「きょうの料理」などのテレビ番組でも活躍されている料理研究家の土井善晴さんをお迎えして、「食事のよろこび」をテーマにご講演いただきます。

【特別講座】

- 日 時 11月21日(土)13:00～15:00(12:00開場)
- 会 場 飛騨市文化交流センター
- 定 員 650名
- 参加費 無料(入場整理券必須)

【整理券配布】

- 応募期間 8月20日(木)～9月24日(木)
- 応募方法 期間中にフォームから応募ください

- ※1応募につき最大4枚まで
- ※重複応募は無効となります
- ※抽選のうえ10月中旬に発送します
- ※当選発表は発送をもって代えさせていただきます
- ※フォームの入力が難しい方は生涯学習課窓口までお越しください



申込フォーム



問 生涯学習課 ☎ 0577-73-7495

バス運転体験会&合同就職説明会

バスの運転体験ができるイベントが開催されます。

- 開催日 8月29日(土) 13:00～16:00
- 場所 岐阜運輸支局及び岐阜県自動車会館
- 主催者 岐阜運輸支局、ハローワーク岐阜、岐阜県バス協会
- 参加要件 普通免許(MT車)以上を所持している方
- 参加方法 バス運転体験会参加をご希望の方は、フォームからお申し込みください。
※8月14日(金)17:00 締め切り
※合同就職説明会のみ参加は申込不要



問 岐阜県バス協会 ☎058-279-3700

申込フォーム

親子粘土ワークショップ

～世界にひとつだけのお皿をつくろう！～

昨年大好評だったお皿づくりを今年も行います。粘土の板を好きな形に切り取り、葉っぱや木の枝で模様をつけ、おやつやご飯が食べられるすてきなお皿をつくしましょう。

- 講師 岐阜県現代陶芸美術館教育普及担当職員
セラミックパークMINO担当職員
- 日時 10月18日(日) 13:30～16:00
- 会場 古川郷土民芸会館 工房
- 対象 小学生と保護者
- 定員 親子15組(製作できるお子さんは1人)
- 参加費 一組1,500円
- 留意事項 お皿は多治見で焼成するため、後日お渡し。
- 申込方法 チラシの申込書をFAXまたは窓口持参。
フォームからも申込可能



問 飛騨市美術館 ☎0577-73-3288

申込フォーム

第22回飛騨市美術展

第22回飛騨市美術展を開催します。たくさんのご来館をお待ちしています。

- 日時 9月20日(日)～10月4日(日)
9:00～17:00
※初日は11:00開館 最終日は16:00閉館
※9月24日(木)、9月28日(月)は休館日
- 場所 飛騨市美術館(入館無料)
- 展示作品
日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門の市展賞、市長賞、優秀賞、奨励賞作品、及び入選作品を展示します。
※一般の部、青年の部があります
※審査員、招待作家等の作品が展示されます
※展覧会後、来館者の投票による飛騨市民賞を発表予定



問 飛騨市美術館 ☎0577-73-3288

川での水難事故を防ぎましょう

川遊びをするときや魚釣りをするときは必ずライフジャケットを着用しましょう。また、お酒を飲んだら川には入らないようにしましょう。

特に、川を泳いで渡ろうとすることは絶対にしないでください。川には危険が潜んでいます。十分注意して水難事故を防ぎましょう。

■岐阜県河川課ホームページ

岐阜県河川課ホームページに、「河川に関するリスク情報 ～大雨、洪水に備える～」があります。

■岐阜県河川課公式X(旧Twitter)

岐阜県河川課公式X(旧Twitter)にて、河川水難事故防止の広報啓発を行っています。



問 建設課 ☎0577-73-3936

詳細ページ

飛騨市リサイクルセンターの利用

■開業時間

平日(月～金) 8:30～16:00 第1、3日曜日 8:30～15:30

※令和8年12月30日～令和9年1月3日は休所

■無料で受け入れ品目(分別回収所)

紙類、プラスチック類、古紙・衣類、缶、ビン、ペットボトル、蛍光管・乾電池、金物、家電小物類、埋立ごみ

・リサイクルセンター右奥の「分別回収所」へ持ち込んでください

・紙類、プラスチック類は、市指定ごみ袋(オレンジ色、水色)に入れた上で持ち込んでください

■有料での受け入れ品目(受付)

粗大ごみ

・施設正面の入り口から搬入してください

・ごみの種類によって手数料が異なります。詳しくは「ごみ分別収集カレンダー(14ページ)」をご確認ください

・事業所からのごみ(事業系ごみ)はすべて手数料がかかります

■ご協力をお願い

・必ず品目ごとに分別した上で、持ち込みください

(ごみの分別は「ごみ分別収集カレンダー(13ページ以降)」をご参照ください。)

・手数料の支払いについては、できるだけ小銭のご準備をお願いします

■ごみの分別方法、出し方がわからないとき

環境課までお問い合わせください。

問 環境課 ☎ 0577-73-7482

名古屋音楽大学シンフォニックウインズ 飛騨市文化交流センター開館20周年特別コンサート

飛騨市文化交流センターと連携協定を結び音楽合宿や子どもたちへの指導をしている名古屋音楽大学シンフォニックウインズによる特別コンサートを開催します。特別ゲストにトランペット奏者のエリック・ミヤシロさんをお招きしての特別コンサートとなりますので、ぜひこの機会にご覧ください。

■日 時 8月26日(水) 開場18:30 開演19:00

■場 所 飛騨市文化交流センター スピリットガーデンホール

■チケット代 全席指定(税込) 一般1,500円 高校生以下1,000円

※チケット販売情報は、詳細ページまたは飛騨市文化交流センターにお問い合わせください



詳細ページ

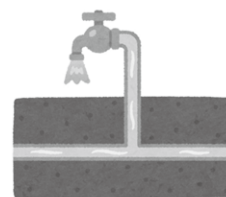
問 飛騨市文化交流センター ☎ 0577-73-0180

下水道への接続を！ 『9月10日は下水道の日』

生活に身近な下水道は、生活環境の改善・河川の水質の保全など、暮らしの環境づくりに大きな役割を担っています。

下水道の使用区域では、トイレ、風呂、台所などからの生活排水を下水道に接続することによりはじめて機能を発揮します。

住み良い環境づくりのため、接続していない事業者や市民の方は、一日も早い接続にご協力をお願いします。



問 水道課

☎ 0577-73-7484

図書館の障がい者サービス

飛騨市図書館・飛騨市神岡図書館では、障がいのために図書館の利用が思うようにできない方にさまざまなサービスを行っています。
障がいに応じて個別に対応しますので、お気軽にお尋ねください。

■サービス内容

- ・郵送貸出サービス(心身障がい者用ゆうメール)
- ・拡大読書器などの読書支援機器の設置など

詳細は図書館ホームページ「図書館の利用に障害がある方へ」をご覧ください。



詳細ページ

問 飛騨市図書館 ☎ 0577-73-5600
神岡図書館 ☎ 0578-82-1764

図書館においてよ 新着図書ピックアップ

大人向けのオススメ



『幸せに生きるための
公務員の「生存戦略」』
加藤年紀/著 公職研

飛騨市職員も受賞した「地方公務員AWARD2025」の受賞者たちが、何を考えて公務員として働いているのかを知ることができます。

子ども向けのオススメ



『おばけのそちから』
内田麟太郎/文 山本孝/絵
岩崎書店

おばけたちの暮らす「おばけやしき」にさむらい達が攻め込んできて、さあ大変。たくさんのおばけが出てくる、夏にぴったりの絵本です。

問 飛騨市図書館 ☎ 0577-73-5600 <https://hida-lib.jp>

8月31日は「野菜の日」・8月は「野菜ファースト強化月間」

県民の7割が1日の野菜摂取の目標量である350g以上に達しておらず、野菜不足になっています。野菜にはビタミン類や食物繊維が含まれ、体の代謝をスムーズにしたり、血糖値の急激な上昇を抑えてくれます。

野菜ファーストとは

- ・いつもの食事にプラス野菜1皿
- ・食事の1番最初に野菜を食べる
- ・野菜摂取量全国1位を目指しましょう

地元産の新鮮な野菜が多く出回る時期です。今日の食卓にもう一皿、彩り豊かな野菜を取り入れてみませんか？毎食のはじめに野菜を食べて、無理なく楽しく健康づくりを始めましょう。

問 保健センター
☎ 0577-73-2948



全国一斉「こどもの人権相談」強化週間

～なんでもおしえて
こころのもやもや～

いじめ、虐待のほか、学校や家庭の問題など、こどもの人権に関わる悩みごと、心配ごとなどの相談に応じます。

■日時 8月28日(金)～9月3日(木)
8:30～19:00
8月29日(土)、30日(日)は
10:00～17:00

■相談専用電話(こどもの人権110番)
Tel.0120-007-110(フリーダイヤル)

■SNS(LINE)による人権相談

アカウント名 法務局LINEじんけん相談
検索ID @linejinkensoudan

友だち登録は
こちらから→



問 岐阜地方法務局人権擁護課
☎ 058-245-3181

大切な方を自死でなくされたあなたへ 分かち合いの集い in 高山

大切な人を自死で失ったという共通の体験を持つ人たちが集まり、亡くなった方への想いやご自身の気持ちなどを、安心して語り聴き合う会です。

申込不要、参加無料で、途中参加や途中退席も可能です。お気軽に参加ください。

■日時 8月30日(日)
13:30～16:00
■場所 総合福祉センター
(高山市昭和田2-224)

※詳細はホームページをご覧ください



詳細ページ

問 岐阜県精神保健福祉センター
☎ 058-231-9732
(受付時間8:30～17:15)

9月10日～16日は『自殺予防週間』

自殺は、さまざまな要因が複雑に関係して、「その多くが追い込まれた末の死」であり、「その多くが防ぐことができる社会的な問題」であるといわれています。

悩みを抱えている時、一人で悩まず、専門の相談機関にご相談ください。
周囲に、いつもと違う様子の人がいたら、一歩近づき、話しかけてみましょう。

◆こころの健康相談統一ダイヤル

おこなおう まもろうよ こころ
0570-064-556

◆よりそいホットライン

つなぐ ささえる
0120-279-338（24 時間対応）

◆電話・SNS 相談先（厚生労働省 まもろうよこころ）



飛騨市および県では、こころの相談窓口を次のように開設しています。つらいことや苦しいことがあれば、予約の上ご相談ください。相談料は無料です。

こころの健康相談カレンダー（令和8年度下半期版）

相談名	飛騨市 こころの相談室	飛騨保健所 精神保健福祉相談 （こころの健康相談）	飛騨保健所 法律とこころの相談会
内容	・精神保健福祉士が対応 ・通院中の方や家族の相談も可能	・精神科医師と保健所保健師が対応 ・主治医のない方に限る	弁護士と臨床心理士が対応
時間	13:30 ～ 15:30 予約制・無料	14:00 ～ 15:30 予約制・無料	13:00 ～ 16:00 予約制・無料
場所	ハートピア古川 （神岡保健センターでも可。 予約時ご相談ください）	ハートピア古川	飛騨総合庁舎
予約先 問い合わせ先	0577-73-2948 古川町保健センター 予約締切 相談日前日正午	0577-33-1111（内線 254） 飛騨保健所 予約締切 相談日前週の金曜日正午	0577-33-1111（内線 254） 飛騨保健所
9月	3日（木）	16日（水）	1日（火）・28日（月）
10月	1日（木）		
11月	5日（木）	18日（水）	6日（金）
12月	3日（木）		
1月	7日（木）	20日（水）	
2月	4日（木）		
3月	4日（木）	17日（水）	10日（水）

飛騨市以外でも開催しています。
飛騨保健所にお問い合わせください。



相談窓口情報を悩み別に検索できるサイトです。
電話でのご相談も受け付けています。

こころの健康相談統一ダイヤル TEL0570-064-556



相談コーナー				
相談名・相談内容	実施日	時間	場所	問い合わせ
もの忘れ相談 ・もの忘れや認知症の相談 ・受診や介護の相談など 脳体力測定「コグエボ」 ・タブレットを使用した脳トレ ・生活の工夫をアドバイス カフェ ・認知症カフェ、脳トレカフェなど 認知症サポーター養成講座	【要予約】 【利用無料】 月曜日～ 金曜日	9:00～ 15:00	オレンジの森 古川町新栄町11-5ツタビル2階 (1階にコインランドリー、駐車場あり)	オレンジの森 ☎090-1408-1017(月～金) ※詳細日時はお問い合わせください
	【要予約】 【利用無料】 月曜日・火曜日 水曜日・金曜日	9:00～ 15:00	オレンジ相談なないろ 神岡町殿789-4 旧工藤医院 (駐車場あり)	オレンジ相談なないろ ☎080-7095-6575(月～金) ※詳細日時はお問い合わせください
こころの相談室【要予約】 (精神保健福祉士によるこころの相談)	9/3(木)	13:30～ 15:30	ハートピア古川	保健センター ☎0577-73-2948
若者就労相談【要予約】 (若者を対象とした就労相談)	9/2(水)、9(水)、 16(水)、30(水)	13:00～ 16:00	古川町コミュニティセンター	岐阜県若者サポートステーション ☎0577-35-4772
ビジネスサポート相談【要予約】 (売上拡大、経営改善など経営上の相談)	9/2(水)、3(木) 29(火)、30(水)	10:00～ 17:00	古川町商工会	古川町商工会 ☎0577-73-2624
	インターネットでの相談も対応しています。詳しくは直接お問い合わせください。		神岡商工会議所	神岡商工会議所 ☎0578-82-1130
ハローワーク出張相談【予約不要】 (職業相談、シルバー人材入会説明)	9/29(火)	11:00～ 15:00	古川町コミュニティセンター	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
	9/14(月)	13:00～ 15:00	神岡商工会議所	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
消費生活相談員による無料相談 (専門の消費生活相談員による消費生活相談)	9/2(水)	10:00～ 15:00	飛騨市役所	総務課 ☎0577-73-7461
令和8年度林業就業 出張相談会 「出張森ジョブ」開催	8/22(土)	13:00～ 17:00	ウッドフォーラム飛騨 高山市清見町三日町165	岐阜県立森林文化アカデミー ☎0575-29-3838

相談や脳トレは会場に来場できない方には、相談員が訪問します。予約時に訪問希望と伝えてください。

2026年消防年報を公開

この年報は、令和7年中および令和8年4月1日現在における状況をまとめたものです。管内の消防の現状を広く一般に紹介するために編集しました。

問 消防本部総務課 ☎0577-73-6198



詳細ページ



市営住宅入居者の募集

公募住宅	諏訪田団地A棟	サンアルプ旭F棟	サンアルプ旭G棟	森茂住宅	宮川団地
種類	特公賃	公営	公営	特定	特公賃
募集戸数	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(単身用) 4戸	(世帯用) 1戸
所在地	古川町杉崎	神岡町殿	神岡町殿	神岡町森茂	宮川町林
構造・規模	R C造5階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建
間取り	2LDK	2DK	2DK	1K	2LDK
家賃	入居者の所得に応じて決定				
	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	共益費別途	共益費別途

■敷金 家賃の3カ月分 ■申込期間 8月24日(月)～8月31日(月) ■入居予定日 10月1日(木)

※RC造…鉄筋コンクリート造 S造…鉄骨造

- ・入居資格について、所得等の条件がありますので、詳しくはお問い合わせください
- ・申込書は、本人または同居予定者の方が建築住宅課または各振興事務所まで直接ご提出ください

問 建築住宅課 ☎0577-73-0153 (古川・河合・宮川) 神岡振興事務所 建設農林課 基盤係 ☎0578-82-2254 (神岡)



点字版・音声版をご希望の方は、県秘書広報課へご連絡ください。音声版には、CD（デジター編集）での提供と音声用のテキストデータの配信もあります

PICKUP

ぎふ
モーニング
プロジェクト

岐阜県が全国に誇るモーニング文化を生かし、日常生活の中で「栄養（美味しいものを食べる）」、「身体活動（喫茶店に通う）」、「社会参加（みんなで楽しくおしゃべり）」の3つを取り入れることで、知らない間に健康へとつながる取組です。

■問／県健康推進課 ☎058(272)8190

介護やフレイル（心身の衰え）を予防して健康を維持するために
岐阜県が全国に誇る喫茶店のモーニング文化を活用！

栄養

栄養が
あるものを
美味しく食べる

身体活動

毎日外出して
適度に
運動する

社会参加

仲間と
よく話し
よく笑う

頑張ら
なくても
自然と健康に
なれる!!

ドリンク1杯の注文で 栄養豊富な朝食
毎朝歩いて 喫茶店に通う
喫茶店で地域の 仲間と談笑

「ぎふモーニングスタンプラリー2026」開催中

喫茶店でスタンプを集めて、
デジタルギフトカード(3,000円分)をGETしよう！

開催期間

令和8年7月1日(水)～令和8年10月31日(土)

応募締切

令和8年11月15日(日)

詳しくは
こちらから

プロジェクトの取組内容

健康管理モニター事業

研究

喫茶店のお客様にモニターとなっていただき、喫茶店はフレイル予防に役に立っているのか、通っている人の健康状態はどうなのかなどを分析・検証します。

活用

人生100年時代の「ワクワク見つけ」出張相談

高齢者の社会参加に関する出張相談を喫茶店等で実施します。

参加促進

ぎふモーニングスタンプラリー

喫茶店でスタンプを集めることで、賞品が当たる抽選に参加できます。

ぎふ健康モーニングコンテスト

健康的で美味しいお店自慢のモーニングメニューを競うコンテスト。スタンプラリー参加者が最終審査をして、順位を決定します。

プロジェクトの目標

健康寿命の延伸(自立して生活できる期間を延ばす)

TOPICS

01 【富山・岐阜交流の日 連携企画】富山県「ALSOKとやま四季防災館」で最新の防災体験をしてみよう！

夏休みには、少し足をのびして富山県へお出かけしませんか？今年4月にリニューアルした「ALSOKとやま四季防災館」は、家族で楽しく防災を学べる体験型学習施設です！新しくできたコーナーでは、令和6年能登半島地震の揺れ体験や、大雨や洪水によって水没した車のドアを開ける体験など、リアルな体験が盛りだくさん。災害時の行動を「2択クイズ」で学ぶこともできます。

- 場所／ALSOKとやま四季防災館（富山県富山市）
- 開館時間／午前9時～午後5時（体験は午後4時30分まで）
- 休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月29日～1月3日）ほか
- 入場料／無料
- 問／ALSOKとやま四季防災館 ☎076(429)9916



02 旅券（パスポート）窓口の混雑にご注意ください

7月1日から旅券の申請手数料が改定されました。

新しい手数料の主な例（18歳以上）

・10年用（電子申請）15,900円→8,900円

・10年用（窓口申請）16,300円→9,300円

改定の影響で申請数が増加し、電子申請・窓口申請のいずれも混雑しています。受取日が大幅に遅れる可能性がありますので、余裕を持った日程でご申請ください。また、「パスけん」を利用するとオンライン上で受取可能日を確認できます。ぜひご利用ください。



- 問／県旅券センター ☎058(277)1000

詳しくは
こちらから

03 岐阜県ぎふっこ育児サポート事業のご案内

子育て世帯の育児負担軽減のため、育児支援サービスや育児用品の購入などに使用できる電子クーポンを発行します。

- 対象／令和5年4月2日から令和9年4月1日までに出生または出生予定の子の母又は配偶者、保護者
- 発行額（1人あたり）／第1子、第2子：1万円、第3子以降：2万円
- 申請方法／専用ウェブサイト ほか
- 申請締め切り／令和9年2月15日（月）
- ※申請開始日などの詳細はウェブサイトをご確認ください。
- 問／岐阜県ぎふっこ育児サポート事業事務局（県委託事業者：（株）マラスキー内） ☎0120(596)301

詳しくは
こちらから

04 【広報紙を読んで応募！】夏の広報紙プレゼントキャンペーン

合言葉を入力し、アンケートに回答のうえ応募いただいた方の中から、抽選で10名様にプレゼントをお届けします。今回は、「関ヶ原の戦い」にちなんだグッズを用意しました。応募は、公式LINEアカウント「岐阜県」を友だち登録のうえ、メニュー内「広報紙を読んでプレゼントに応募」からご応募ください。合言葉は「せきがはら」です！※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

- 応募締め切り／8月31日（月）まで
- 問／県秘書広報課 ☎058(272)1114

友だち登録は
こちらから

まめなかな

なぜ夏は血糖値が上がるのか
～脱水と暑熱ストレスの落とし穴～

夏、健診で「血糖値が高くなった」という方が増えます。これは夏特有の、身体の中で起きている仕組みが原因です。

①血液の「濃縮」

普段より大量の汗をかき、体液が減少します。同じ量の糖でも、血液が濃くなれば血糖値は高くなります。

②暑さのストレスがホルモンを乱す

暑さは心身に負荷をかけ、アドレナリンとコルチゾールというホルモンが分泌されます。これらのホルモンは肝臓に指令を送り、ブドウ糖を

血液中に放出させます。つまり、暑いだけで血糖値が上昇する仕組みになっています。

③運動不足で筋肉が糖を消費しない

猛暑で外出を控えると、運動量が減ります。筋肉は糖の最大の消費器官です。活動量が低下すれば、血液中の糖が消費されず、蓄積してしまいます。

④睡眠不足で血糖値が上昇

日が長くなると就寝時間が遅くなりがちです。加えて最近の飛騨は夜も気温が下がらないことが増えています。睡眠不足は自律神経を乱し、血糖値調整機能が低下します。つまり体の疲れが、さらに血糖値を上げてしまいます。

⑤糖分飲料の落とし穴

熱中症予防の名目で、スポーツドリンク等をたくさん飲むと腸での吸収が速いため、血糖値を急激に上げます。

⑥ミネラル不足がインスリン不全に

汗とともに、マグネシウムなどのミネラルを大量に失います。ミネラルはインスリン分泌に不可欠で、不足すると血糖値調整機能が低下します。

夏の疲れを取り、血糖値を上げないために今できる対策をお伝えします。

毎日、朝・昼・晩にのどが渇いていなくても水か麦茶をコップ1杯ずつ飲む習慣を。無理のない朝夕の散歩、室内のラジオ体操などで筋肉のブドウ糖消費を促し、夜10時までの就寝で睡眠を確保しましょう。夏の血糖値上昇は正しい対策で改善できる可能性があります。

問 保健センター

☎ 0577-73-2948



<その77> はじめませんか？

避けては通れない問題

身寄りのない人や、親族に負担をかけたくないと考えている人にとって、自分の死後の手続きは非常に大きな問題です。

「葬儀は誰が手配してくれるのか」「遺品整理は誰がするのか」「毎月の決まった支払いはどうなるのか」等々、心配ごとは尽きません。

このような不安を解消するのが『死後事務委任契約』です。この契約により、代理人に死後のさまざまな手続きを委任することができます。つまり、自分が亡くなった時、信頼で

きる誰かに葬儀や役所の手続き、家財の整理などを任せるということを生前に決めておく契約なのです。

『死後事務委任契約』は、よく『遺言』と混同されますが、両者にははっきりとした違いがあります。

『遺言』は、主に財産の分配が対象となりますが『死後事務委任契約』は、死後の事務手続き全般が対象。また、これらを上手く組み合わせることで、より確かな備えとなります。

例えば、身寄りのない方にとって、法定相続人に当たる人がいない場合、不動産だけが残ってしまうような場合があります。そこで生前に『遺言』を活用し、その行く末を明確にしておく、周りの人の負担をなくすことができるのです。

安易に「自分が亡くなったら自宅不動産は市へ寄附したい」などと考える人もおられますが、そのようなことは簡単にはできないのが現状で

す。

『死後事務委任契約』や『遺言』については、難しい部分もあり、とても自分ひとりでは考えられないという方や、契約のための代理人がいないといった方は、どうぞ飛騨市終活支援センターへご相談ください。



『死後事務委任契約』
『遺言』のご相談は
飛騨市終活支援センターへ

問 飛騨市終活支援センター

(飛騨市社会福祉協議会内)

☎ 0577-73-3214

2026年7月31日現在

ご結婚

西本 泰斗 高山市
牛丸 祐菜 古川町高野

お誕生

【古川町】
種村 夏芽 上野 義樹・文菜
吉本 日向子 上気多 優・佳乃子
柚原 碧泉 是重 祐二・恵理
今枝 優雁 大野町 裕武・美穂
【神岡町】
三貫納 かなみ 吉田(吉田中) 雅峻・友莉

お悔み

【古川町】
田口 隆俊 是重二丁目 (66)
岩佐 明子 壺之町 (85)
岩佐 ヨシ子 南成町 (92)
【河合町】
岩佐 勝二 角川 (87)
【宮川町】
大下 陳雄 三川原 (90)
【神岡町】
小林 行男 殿 (76)
中田 かず子 東町(末広1) (99)
沖野 好夫 殿 (92)
横山 信義 船津(新富1) (103)
荒井 良平 割石 (84)
豊倉 慧美 堀之内 (82)
住井 眞一 寺林 (97)
森腰 佐智子 緑ヶ丘(緑ヶ丘2) (94)
横井 弘延 船津(西里1) (84)
四十竹 和子 東町(中園1) (93)
宮下 まり子 殿 (78)

ご寄附

【ウクライナ人道危機救援金】
味処古川協会 様(古川町) 金1万円
【令和6年9月能登半島大雨災害義援金】
味処古川協会 様(古川町) 金1万5千円
【令和6年能登半島地震災害義援金】
飛騨産直市 そやな様(古川町) 金11,751円
【令和8年熊本地震災害義援金】
岡村 勝 様(古川町) 金5千円
【飛騨市子育て支援事業へ】
ヒミスケ 代表 氷見 大輔 様(古川町) 金5千円
【地域の医療の充実、生涯学習の推進等のため】
高山信用金庫
公益財団法人たかしん地域振興協力基金 金800万円
【学校教育事業のため】
フコクしんらい生命保険株式会社
代表取締役社長 森下俊彦 様(東京都) 金58,000円
高山信用金庫
理事長 坂口 秀平 様(高山市) 金58,000円
【市内保育園・こども園へ】
高山信用金庫
理事長 坂口 秀平 様(高山市) 絵本46冊
【飛騨市がんばれ応援寄附金(ふるさと納税)】
全国の方からたくさんのご寄附をいただきました
2026年7月分 2,297件 金5,657万円

人口の動き
(8月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
10,183	10,808	20,991	8,813
出生 5	転入 31		
死亡 28	転出 52		
高齢化率 40.89%			

町別人口内訳

古川町	13,091
河合町	742
宮川町	502
神岡町	6,656

消防の状況
(7月31日現在)

本年累計	火災	救急
飛騨市	4	684
その他 (管外出動)	0	0
前月比	+1	+113

交通事故の状況
(7月31日現在)

本年累計	人身交通事故			物損 交通事故
	件数	死者	傷者	
本年累計	7	0	5	272
昨年同期	12	0	16	338
増減	-5	0	-11	-66

世界初！スーパーカミオカンデが捉えた！ ～宇宙の歴史を解き明かすタイムカプセル～



実験代表者の関谷洋之さんにお伺いしました！

今回研究でどのような兆候をとらえたのでしょうか？

宇宙の長い歴史の中では、数え切れないほどの星が寿命を迎えて「超新星爆発」を起こしてきました。その大爆発のたびに放たれた「ニュートリノ」は、当時の情報を保ったまま今も宇宙を漂う「タイムカプセル」です。今回、スーパーカミオカンデは約5000日分のデータから、世界で初めてこの「超新星背景ニュートリノ」という過去からのメッセージの兆候を捉えました。星々がどう生まれ、私たちの身体を作る炭素や酸素などがどう作られてきたのか、宇宙の歴史を解き明かすための大きな一歩です。

神岡町ではいつからどんな研究をされているのですか？

我々の近くの単独の星の爆発によるニュートリノは前身のカミオカンデで1987年に捉えられましたが、はるか遠方からの蓄積である超新星背景ニュートリノの検出は、1996年のスーパーカミオカンデ観測開始時からの長年の悲願でした。本年5月にはスーパーカミオカンデの30周年記念シンポジウムを開催しましたが、まさにこの約30年にわたる観測の歴史が結実したものです。特に2020年からタンク内の水に硫酸ガドリニウムという物質を溶かし、極めて高い精度でノイズと信号を見分ける独自の技術が今回の成果につながりました。

研究で苦労されたことを教えてください

この超新星背景ニュートリノの信号は非常に微弱なため、ノイズを取り除くことが最大の壁でした。そこで硫酸ガドリニウムを導入しましたが、これは一筋縄ではいきませんでした。水タンクの改修工事に加え、硫酸ガドリニウムの溶解手順の確立、そして新たな水循環純化装置の開発と運用など、巨大な実験装置と水質を常に完璧な状態に維持し続けるという、皆で力を合わせての地道な努力が不可欠でした。

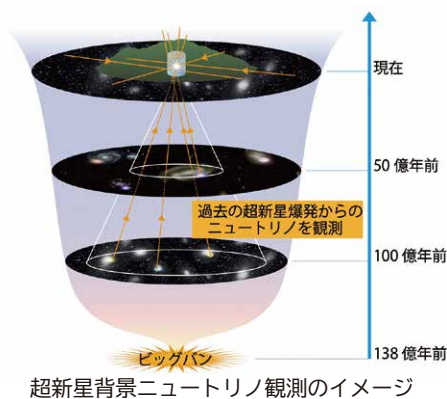
今後の思いや抱負を教えてください

今回の結果は99.5%の確率で正しいという「兆候」の段階ですが、宇宙の元素がどう作られてきたのか、私たちを含めた物質の起源の歴史を紐解く決定的な手がかりです。宇宙のタイムカプセルからの確実なメッセージとして読み解くため、引き続きスーパーカミオカンデでの観測を継続します。そしてハイパーカミオカンデの完成後はさらなる感度向上を目指します。

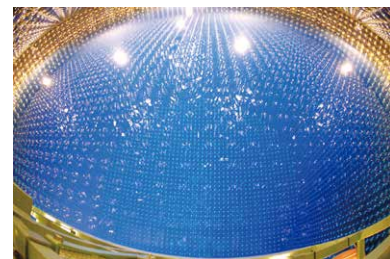
2024年よりスーパーカミオカンデ実験代表者

関谷洋之氏(東京大学宇宙線研究所 准教授)からのメッセージ

今回の成果は、長年にわたりスーパーカミオカンデを温かく支えてくださった飛騨市民の皆さんのご理解があってこそのもです。皆さんの暮らす飛騨の地下1,000mで、宇宙の観測を行っていること、そして宇宙の歴史を解き明かす最先端の研究結果が生まれていることを、改めて感じていただければ嬉しいです。今後とも応援よろしくお願いたします。



ガドリニウム導入の様子と
新たに開発された水システム



5月23日 スーパーカミオカンデ30周年
祝賀会



2026年6月26日発表の様子



7/1 暑さ対策のため 市内でクーリングシェルターを開設中

危険な暑さから身を守ることを目的に、冷房設備を備えた公共施設や民間施設など19施設を「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」として、10月21日まで開放しています。



7/9 神岡中1年生が古川町の事業所など を見学しました

「探Q学習」の一環で市内を散策したり地元の事業者の皆さんなどから話を聞いて、まちの魅力や課題を発見したり学びを深めようと、神岡中学校の1年生43人を対象に飛驒市研修が行われました。



7/10 令和8年度岐阜県自治連絡協議会 が飛驒市で総会開く

県自治連絡協議会総会が飛驒市文化交流センターで開かれ、今年度事業計画など議案審議に続き、CoIUの宮田裕章特別顧問が「岐阜から考える、これからの大学と地域の姿」と題して講演しました。



7/3 天生県立自然公園で2年ぶりに 安全祈願祭を開催

令和7年の大雪により道路法面が崩落し、復旧工事のため通行止めが続いていた国道360号(天生峠)の飛驒市側道路が開通し、2年ぶりに安全祈願祭が執り行われました。



7/10 地域おこし協力隊ベニーさんによる 台湾講座が行われました

台湾・新港郷でのホームステイ研修を前に、同地域の出身である地域おこし協力隊の莊欣翰(愛称ベニー)さんから台湾の文化や生活マナー、中国語などを学ぶ講座が開かれました。



7/11 連合岐阜が外来種オオハンゴンソウ を駆除しました

連合岐阜飛驒地域協議会の組合員25人が「飛驒市特定外来生物防除事業」に賛同し、流葉スキー場で北米原産のオオハンゴンソウを駆除。掘り起こした草からコンテナ6個分の根株を切り取って処分しました。



7/12 移住後の楽しみや悩みを共有する
「移住者交流会」を開催

市では市外から市内へ移住したり、Uターンした人を対象に「移住者交流会」を催し、家族連れを含め16人が参加。地元産の野菜スティックなどをつまみながら親交を深めました。



7/17 ナウエ(株)が古川中へ情報教育などに
使用する機器を寄贈

家具製造などを手がける古川町のナウエ(株)が、(株)北陸銀行による「SDGs私募債」を活用し、古川中学校に「タブレット用フロアスタンド」と「アップルTV」を寄贈していただきました。



7/18・19 ジオスペースアドベンチャー(GSA)
2026を開催しました

神岡鉱山の坑道や宇宙物理学研究施設などを見学する恒例の「ジオスペースアドベンチャー(GSA)」が18、19両日に行われ、全国から訪れた約800人の参加者が研究者の案内に耳を傾けながら見学しました。



7/17 高山信用金庫が創立100周年記念
で、保育園やこども園に絵本を寄贈

創立100周年を迎えた高山信用金庫が記念行事の一環として、飛騨市内の7つの保育園・こども園に対し、各園が希望する絵本を寄贈していただくことになり、宮城保育園で贈呈式が開かれました。



7/17 企業が飛騨市に共同寄付
学校作業療法士の派遣に活用

高山信用金庫とフコクしんらい生命保険(株)が市に寄付金を贈られました。この慈善活動は「飛騨市の教育のために」と行われているものです。今回は学校作業療法士の派遣に活用されます。



7/25・28 地域全体の防災力を高めようと
自治会と防災士がタッグ

飛騨防災ラボ(自主防災組織連絡協議会)は地域全体の防災力を高めようと「第1回地域防災研修会」を開催。初日は各区長と防災士、CoIUの学長や学生らが集いました。今後はさらなる連携強化を目指します。

飛騨びと言の葉綴り

市民の皆さんの活躍や生き様を飛騨市観光プロモーション大使が紹介



インタビュー担当

オカダミノルさん

ねずもち 古川町「県道鼠餅線、笠地蔵のオジチャンは、今日も古小下の四ツ辻に立つ！～菅沼明彦」

「鼠餅線古川小学校下の四ツ辻に立って、11月ではや20年。子どもらの通学を見守り続けとるだけやさ」。男は菅笠を擡(もた)げ、陽に焼けた赤ら顔で笑った。

古川町の菅沼明彦さん(79)だ。「傘寿までボランティア人生」を座右の銘に、雨の日も雪の日も子どもたちの通学を見守る。

菅沼さんは、昭和22(1947)年に古川町で誕生。吉城高校卒業後、昭和40(1965)年4月、愛知県東海市の東海製鐵(株)に入社。冷延(れいえん)と呼ぶ、鉄のコイルをローラーで薄く伸ばす作業を、24時間3交代制で担当。「ところが3交代の生活リズムが合わないんだんやさ」。同年10月、古川へUターン。その翌月には、名古屋の昭和郵便局に欠員が生じ、臨時補助員に採用され簡保のセールスを担当。「当時は制服もなく、高校の学生服着て集金に走り回ったもんや」。ところがその翌年、父が突然の事故で身罷った。「耕運機で踏切を渡ろうとした時、突然耕運機が止まってまって、汽車と相撲取って轢かれてまったんやさ」。父の事故死により、菅沼さんには長男としての責任が押し掛かった。昭和43(1968)年4月、岐阜県吉城郡古川町の飛騨古川郵便局への、転勤希望が叶えられた。

昭和45(1970)年、古川町体育協会に入会。「郵便局の先輩が、手伝って欲しいって言うもんやで」。昭和47(1972)年から始まった、第1回「飛騨市ふるかわ元旦マラソン」の運営に奔走。昭和49(1974)年12月に、百合子さんと結ばれ三男を授かった。

平成7(1995)年。「高山へ転勤が決まって、体育協会副会長の仕事を辞めさせてもらったんやさ」。

平成17(2005)年、58歳で郵便局を退職。2年後には、町内21区の区長に。「毎月20日の日に、ず～っと昔から続いとる、交通指導をやらせてもらうようになったんやさ」。ところがその年の11月に入ると、菅沼さんは毎日毎日「止まって下さい」と染め抜かれた旗を片手に、子供たちの通学を見守りはじめた。「古川小学校の下の方の四ツ辻は、見通しが悪かったんやさ。家から歩いて1分やで、朝飯食ってドラマ観て、菅笠被って旗持って四ツ辻へと向かうんやさ」。

20年で延べ1,000人以上の子どもらを見守った。

ある年の卒業式前日。四ツ辻で子どもらを見守っていると、6年生の女の子に袖を引かれた。「『オジチャン、6年間ありがとう』って、封筒に入った手紙を手渡して来たんやて。何よりの勲章そのものやったさ」。20年に及ぶ見守りは、忘れ得ぬ思い出ばかりだ。

「笠被っとなるわしの前で、数珠持って拝んでまうと、それまた怖えけどなあ。あっそう言えば、笠地蔵へのお供えやないけど、女の子が『オジチャンちゃん、修学旅行のお土産』って、お菓子を買って来てくれたことがあった。『ごっつお様よ!』っていただいたけど、なけなしの小遣いで買ったんやと思うと・・・」。菅沼さんの言葉が、心なしかくぐもった。

「まあ、来年からは座右の銘も『傘寿までボランティア人生』に改めなかなあ」。

毎朝四ツ辻に立ち続ける、古川町の笠地蔵、菅沼明彦。祠や地蔵尊幕もない。笠地蔵に憑依したかのような老人が、いずくともなく四ツ辻に現れ、すべからく子どもらの安全を見守り続ける。



すがぬま あきひこ
古川町 菅沼 明彦さん



市ホームページでは、フルバージョンやこれまでの連載もご覧いただけます。

文/オカダミノル
(飛騨市観光プロモーション大使)
イラスト/波岡孝治
(のみながらにがえ師)

